

**製品名: TRIM16 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19266**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	TRIM16
別名	TRIM16; EBBP; Tripartite motif-containing protein 16; Estrogen-responsive B box protein
遺伝子 ID	10626.0
SwissProt ID	O95361
免疫原	抗血清はヒト TRIM16 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

**背景**

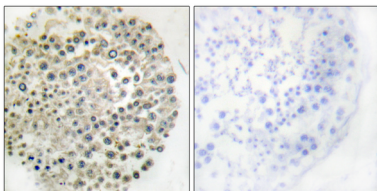
この遺伝子は、エストロゲン受容体を安定発現する上皮細胞において、エストロゲンおよび抗エストロゲン制御遺伝子として同定されました。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、B ボックスジンクフィンガータンパク質ファミリーに特徴的な 2 つの B

ボックスドメインとコイルドコイル領域を含んでいます。このファミリーのタンパク質は、細胞の増殖、分化、病態形成など、様々な生物学的プロセスに関与することが報告されています。この遺伝子の発現はほとんどの組織で検出されましたが、その機能は未だ解明されていません。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: ケラチノサイトの分化制御に関与する可能性がある。 ,類似性: TRIM/RBCC ファミリーに属する。 ,類似性: B30.2/SPRY ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: B ボックス型ジンクフィンガーを 2 つ含む。 ,組織特異性: 精巣、卵巣、小腸、結腸、胎盤、心臓、骨格筋、乳腺に最も多く存在する。胎児では、成人の対応する組織よりも高い発現を示す。基底ケラチノサイトで発現する。 ,

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; 発達ファミリー

## 画像データ



TRIM16 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。